

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	関東農政局神流川沿岸農業水利事業所	連絡先	0495-24-3664
所管する業務の概要	農業水利施設の老朽化に伴う機能低下や畑地かんがい施設未整備による不安定な用水利用を解消する為、環境と調和に配慮しつつ、基幹的用水施設の再整備を行うとともに関連事業により畑地かんがい施設を整備することにより農業経営の安定と生産性の向上に資する事業。		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
地元説明会や地元交渉時は、専門用語は避け、わかりやすい言葉で丁寧に説明するよう常に心掛けるようにしている。接遇に関し、電話のたらい回し等なくすよう心掛けている。	電話の対応で自席以外急いで出たが、メモしなかった為、相手の名前等を聞き漏らした。今後は、メモと筆記用具を持って電話取することを習慣づけるようにする。
省全体の各政策については、農水省 HP 等を活用し、施策内容の把握に努めている。	省全体の各政策について説明できる知識がないことが判り、より一層農政サイドと連携を図ったりしながら勉強会を開催したい。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
耕作放棄地対策、農地・水・環境保全向上対策、水土里情報利活用促進事業など国営事業以外の施策について市町に説明。	短期間での説明を要したため、個別具体的な質問にその場では答えられない場面もあり、対応に苦慮した。今後は、関係部署等との連携をより一層図り、質問に答えられるように努めて参りたい。
地元説明会では、専門用語を使わず、分かり易い言葉で説明するなど工夫している。	

3. リスク管理	
<p>・現在行っている取組や工夫</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p>
<p>地元からの苦情や要望は、記録簿に記載して必ず回覧し、情報の共有化を図っている。工事による地域への不利益（原形復旧等）が生じないように現場監督に行った都度、確認している。</p>	<p>地元説明会に臨むにあたり、情報の共有化がうまく機能せず、事前の意思統一が不足してしまったこともあった。今後は事前確認をより密に行っていきたい。</p>
<p>ヒヤリ・ハット事例の活用。</p>	<p>他地区の事例をみると、日頃考えていなかった事が、重大な案件に発展する可能性があることを認識した。もっと危機感を持ちながら、業務の参考になるよう結びつけていくことが必要。</p>

4. その他の重要な取組	
<p>・現在行っている取組や工夫</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p>
<p>将来（事業完了後）における財産管理の為、管理予定者（土地改良区）との連携による施設管理に努めている。</p>	<p>改良区の実務者レベルの意見を取り入れた施設整備が必要だと感じている。</p>

